



関町小通信

令和3年7月1日
練馬区立関町小学校
学校だより 7月号

近隣農園との関わりから学ぶ（カリキュラム・マネージメント）

校長 加園 正子

練馬区では、昨年世界農業サミットが開催され、都市農業の魅力と可能性を世界に発信していました。区内にも、練馬産農産物を使った人気飲食店があり、私たちの生活に豊かさをもたらしてくれています。関町地区には、本校敷地の隣に田中農園とはまなか農園があり、少し南へ歩くと井口農園があります。立野地区まで足を延ばすと、広大なキャベツ畑が広がります。どの農園も、区を代表する都市農業を営まれており、関町地区は恵み豊かな地域です。

このような魅力のある関町地区の地域教材を、本校の子供たちにも体験を通して学ばせていきたいと考えています。関町地区の恵みある豊かな環境に気付くと共に、関わっている農家の方の努力を知ること、地域への愛着を深めてもらいたいと願っています。さらに、将来の関町地区を担う子供たちに、関町地区をさらに魅力ある街になるよう地域のリーダーとして活躍してほしいと思います。そのために、本校卒業生である地域の方にご協力いただきながら、農園と連携した学習活動を計画し、コロナ禍でも実施できることからはじめていきたいと考えています。

本校の3年生は社会の学習で、毎年田中さん（田中農園）にグスティチャーとして参加いただきお世話になっております。また、今年度からは、2年生が生活科の学習ではまなか農園へ見学に行き、ブルーベリーの木を観察させていただくことにしました。掲載した写真は、2年生が各自で決めたブルーベリーの木（花や実の形、色、香り等）を観察カードに記入している様子です。観察後の質問コーナーでは、「どうしてネットが張ってあるのですか？」「木の大きさが違うのはなぜですか？」などと質問し、浜中さんの答えに聞き入り、興味関心を高めていました。今後、9月初旬に、色づき熟したブルーベリーを積み、給食のブルーベリーケーキの食材に使えればと考えています。今後のお天気次第ではありますが、子供たちは、農園でのブルーベリーの収穫とブルーベリーケーキを給食で食べることをとても楽しみにしています。



2年生 生活科 はまなか農園にて



関小フェスタ 大成功！久しぶりに異学年交流を楽しみました

6/25日（金）、6年・1年、5年・3年、4年・2年がペア学年となり、下学年が上学年にゲームでチャレンジしました。下学年にゲームを楽しんでもらうために、ていねいな説明、やさしい声掛けと応援、順番待ちを飽きさせない工夫と素早い誘導等、見事な運営でした。



お兄さんのしっぽがとれるかな？



ゴールを目指して ドーンじゃんけん！



全員あててしまおう！

〈夏休みの自由研究についてのお知らせ〉

今年度より、夏休みの自由研究については、応募作品作り等も自由研究に含めることにします。今まで通り自分で課題を決めて、主体的に取り組んでみてください。応募については今まで同様、各ご家庭で申し込んでください。なお、区主催の学校応募については、学校が窓口となります。夏休みの自由研究については、2学期に各教室や廊下等に掲示いたしますので、2学期始めに担任にご提出ください。

*今年度も、各種団体からの応募案内やポスターを職員室前掲示板に貼っておきますのでご覧ください。